

# 平成28年度 おらほーる劇場第10回記念公演

アクアリウムバリエーション

## 水族館変奏曲

作 こむろこうじ

### 【登場人物】

矢部いさむ … 社長 【佐々木 貴】  
 矢部たま子 … 専務 【西 映子】  
 奏多 … 男性職員 【松井畑 修】  
 落合 … 男性職員 【長坂 友太】  
 小向 … 女性職員 【深澤 奈津実】  
 広崎 … 女性職員 【水上 千穂】  
 法螺 … 女性職員 【高橋 凜】  
 高屋敷 … 女性職員 【向井 李】  
 大下 … 女性職員 【水無 若菜】  
 新田課長 … 久慈市産業振興課長 【富沢 秀明】  
 上館部長 … 久慈市産業振興課総括主査 【和山 友亮】  
 高橋 … 久慈市産業振興課主事 【高畑 智淑】（後に社会文化課へ）  
 宮沢 賢 … 岩手県久慈地区合同庁舎総務企画課長 【田畑 正治】

朱書きはあくまで、人数合わせの仮充てです。演出の意向で変更して構いません。最初は名前を消して脚本を渡しましょう。水色で記述している役は、出ていませんが、人数調整で必要になれば書き足します。

高伊木 真子 … 岩手県久慈地方振興局総務企画課上席

マリエント 石井 館長 … 美人すぎる館長 【佐々木道子】 ラストのみ

新妻 紫縁 … 被災地支援のボランティア 【大向 積】

大王 愚息 … IT関連会社社長 他各種 【木地谷 淳】

ベスト オブ ケン … 謎のミュージシャン

クリオネ … 世界的に活躍するアーティスト 【佐々木響子】  
 テレビ局アナ … 【水無 美悠】

ハコフグ … 【二ツ神聖也】

オウムガイ … 【田中 陽葵】

カメタロウ … 【蒲生 丈生】

ウミフクロウ … 【末永津記子】

カメキチ … 【大西 健一】

ヒトデ … 【播磨 愛和】

エビ … 【菊池 萌生】

愛和 播磨  
 丈生 蒲生  
 陽葵 田中  
 萌生 菊池  
 二ツ神聖也

凜 高橋  
 李 向井  
 若菜 水無  
 美悠 水無

秀明 富沢  
 正治 田畑  
 淳 木地谷  
 健一 大西  
 友太 長坂  
 積 大向  
 修 松井畑  
 智淑 高畑  
 友亮 和山  
 貴 佐々木  
 響子 佐々木  
 映子 西  
 千穂 水上  
 奈津実 深澤  
 記子 末永

水族館来場者（谷地室長他エキストラ）

## 【水族館変奏曲 あらすじ】

北三陸にある水族館は、子どもたちにも人気がありにぎわいのある水族館だった。そんなある日、大きな地震が起こり水族館が津波に飲み込まれる。

被災した水族館では、魚たちが懸命に生きていたが、力尽きて死んでしまう魚もいた。

水族館職員は生き残った魚たちを救出し、水族館の再建に向けて立ち上がる。水族館の再建に向けては、数々の課題が湧き上がってくる。

個性豊かな支援者や行政職員と一緒に歩みながら、一步一步進んでゆく水族館職員。多くの人たちが幸せな気持ちを持てるような形で、水族館は再建を果たすことができるだろうか。

## 【舞台構成】

三幕構成とし、一幕と三幕は被災した現場、二幕はまちなか水族館の場面とする。

第一幕は基本としては、トンネル水槽を中心とした舞台構成である。

トンネル水槽への明かりの当て方や、前方への瓦礫等の装置の配置等で、時間の進み具合と、復興の進展状況を把握することができるように配慮する。

### 第一幕 震災以前の風景

- ① 被災前の水族館  
(トンネル水槽が中心の穏やかな風景)
- ② 舞台前方の水槽の中の風景  
(魚たちの活動が展開される。)
- ③ 被災直後の瓦礫に囲まれた水族館
- ④ 瓦礫の撤去が済んだ水族館

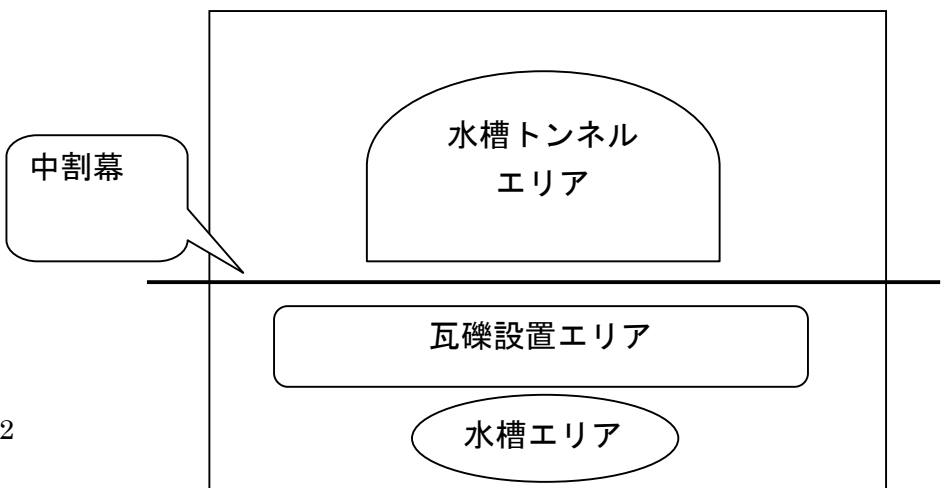
### 第二幕 まちなかの風景

まちなか水族館

※ 中割り幕前方で演技

中割りを紗幕で設定し、二幕の終了と同時に舞台後方に明かりを入れて、三幕を始めることも可。

舞台構造 (案)



- ⑤ 第三幕 あれから五年の風景  
再建を果たした水族館

## 第一幕 震災以前の風景

### 1ST その日以前の日常

幕が上がるとそこは幻想的な青い明かりで彩られた、水族館の中。水族館職員が、餌をやったり、掃除をしたり…。

お客さんが数人、水槽の中で泳いでいる魚を眺めている。

舞台中央には、水槽エリアがあって、水槽の中で泳いでいる魚たちが楽しそうに泳いでいる。

舞台中央の水槽内部エリア。そこは青い水槽内部の世界。

青い色の中に、いくつかの岩がゴロゴロと転がっている。

水の中の世界。でも、自然の世界では無い。

岩は、良く見れば発砲スチロールでつくられた感じがする。

そこに、この世界に住んでいる生き物たちが、集まってくる。

すいすいと泳いでくるハコフグ

ハコフグはしゃぼんだまをして遊んでいる。そのしゃぼんだまは、水の中から泡が出てくる感じに見える。

優雅に漂っているオウムガイ

土のところにゆっくりはってくるカメたろう

せわしなく、手足を動かすエビとカブトガニ

ゆっくりとはってくるウミフクロウ

全体を見渡すようにゆっくりと泳ぐカメきちさん…。

水の中に住んでいる生き物たちは、水の中を楽しんで暮らしていることが、満面の笑みから読み取れる。

職員が餌をまく。

カメたろう ごはんがふってきたぞ。

ハコフグ わあい。ごはんだ、ごはんだ。

カブトガニ おいしいごはんださあたべよう。

エビ こっちのごはんも、あっちのごはんも、みんなたべよう。

エビ、急いで落ちてくるえさをむしゃむしゃ食べる。

ウミフクロウ おちついて、ゆっくりたべなよ。

ヒトデ そう、ゆっくり。

オウムガイ ちゃんとみんなのぶんのごはんがふってくるよ。

カメきち 人間たちには感謝しなきゃな。ありがとう。

水の生き物たちはペコリと頭をさげる。

奏多 カメきちたちがお礼を言っているよ。

小向 わかるの。

落合 毎日見ていれば、わかるよ。

法螺 言葉も。

落合 言葉が無くても通じるんだ。

奏多 そうです、みんな笑ってます。

広崎 そうね、みんな嬉しそう。

職員、笑顔で餌を撒き続ける。

餌を撒く作業がひと段落し、小向が奏多に話しかける。

小向 奏多さん。今度のゴールデンウィークの企画なんですけど  
奏多 何。

小向 ライブなんかやって、盛り上げられたらって思うんですよ。

貴屋敷 お金かかるんじゃない？

奏多 社長に相談してみたら。

広崎 ライブ良いですね。

落合 水族館なんだから、水族館だからこそっていう企画じゃなきゃ。

大下 でも、ここじゃ、アーチストも来ないし、インスタライブも無いし…。

小向 大物アーチスト来たじゃない。

法螺 誰？

小向 千昌夫。

広崎 はい、はい、はい。

大下 確かに大物。

小向 インスタライブだってあったじゃない。

法螺 誰？

小向 駅前のクレヨンで、広崎ちゃんの単独ライブ。

高屋敷 あったあった。

法螺 「インカラオケボックスになった気ライブ」だけどね。

広崎 94点出したじゃない。

法螺 本物のライブ聴きたいよね。

大下 この、大水槽のところ、アクアリウムライブしたいよね。

広崎 クリオネちゃんとか、来てくれないかな。

そこへ、たま子が、季節に似つかわしくない女優帽と大きなサングラスをつけた女性を案内しながら現れる。たま子水槽の様子を説明している。

広崎 誰？

法螺 誰だろう。

高屋敷 聞いてみれば？

広崎 そうね。あのお…。

広崎、帽子の中の顔を覗いて驚く。

広崎 げげっ。クリオネちゃん。

たま子 しっ。声が大きい、まだ極秘なんだから…。

大下 極秘って？

たま子 ゴールデンウィークにここでサプライズライブ。

奏多 本当ですか。

たま子 テレビ局の企画で、「ダーツの旅、有名歌手が突然現れてライブをしたら」に見事、当選！

高屋敷 その番組、知ってる知ってる。

小向 で、ライブやるんですか。

たま子 ゴールデンウィークに！

女性職員、歓喜の声をあげる。

たま子、口の前に人差し指を一本立てて、たしなめる。

たま子 秘密がばれたら、この企画もおしまいだね。

法螺 分かりました。

大下 秘密だったら、ゴールデンウィークの集客にはつながりませんよね。

たま子 そこは、それ、奏多くん、落合くんのゴールデンウィーク企画で集客してよ。

奏多 分かりました。

落合 もちろん、水族館ですから、水族館企画で勝負です。

たま子 そう、そして、この企画が成功すれば、夏休みには大きな集客が見込めるんだよね。

広崎 たま子さん、先の先読みですね。

奏多 さすが専務。

たま子 まあね。

そこへ社長が緊張して現れる。

矢部 クリオネちゃんさん。よ、ようこそ。

たま子 アグネスちゃんじゃないんだから、クリオネさんで良いのよ。

矢部 今回は、ありがとうございます。

矢部、一般客の人（実は火事では死んではいないで、身を隠して生活していたがたまに息抜きに観光に訪れた川崎鉄男に扮した愚息さん）に挨拶をする。

たま子 こっちこっち。すみません。緊張しちゃって…。

クリオネ 良いライブができるように全力を尽くします。

大下 クリオネちゃんいい人だ。

高屋敷 普通でも、上から目線じゃない。

広崎 ファンになっちゃう。

法螺 そう、そう。

小向 本当に、ライブ良いなあ。

高屋敷 ライブ良いよねえ。

女子職員舞台中央後方で、夢見がちな目で集まる。

クリオネはその後方に隠れる。

その他の職員、来場者、魚たちは、その日のその時の日常の状況で過ごし続ける。

音楽が始まると同時に照明がライブ照明に切り替わる。

女子職員が散ると、センターから舞台衣装をまとったクリオネが現れる。

歌が始まると同時に、職員、来場者、魚たちが踊り出す。

歌（Over Again）

歌唱…クリオネ

Over again

Over again  
水面（みなも）に煌（かがや）く太陽（ひかり）の欠片拾い集め  
明日への希望 形にして

船を 無くしたって  
ぼくらはまだ生きているんだから  
ほら 旅立つよ 航海  
仲間さえいれば  
旅は続けられるさ  
いつかまた  
船を作って  
漕ぎ出そう 大海原（wadatsumi）

Over again  
水面（みなも）に煌（かがや）く太陽（ひかり）の欠片拾い集め  
明日への希望 形にして

Over again  
水面（みなも）にたゆたう 光の影手繰り寄せ  
新しい色で染めよう 未来！

棲み家 失っても  
ぼくらはまだ立ちあがれるんだから  
さあ 興すんだ 心の柱  
想いさえあれば  
作り出せるさ 新しい記憶  
いつかきつと  
ここで 夢を  
追い求められるさ NEVER GIVE UP

Over again  
水面（みなも）に煌（かがや）く太陽（ひかり）の欠片拾い集め  
明日への希望 形にして

Over again  
水面（みなも）にたゆたう 光の影手繰り寄せ  
新しい色で染めよう 未来！

音楽カットと同時に、照明、眼つぶし人物シルエット。

照明が落ちる。

長い地鳴り。地震。

舞台中央部に瓦礫が落ちる。

地鳴りが収まると次第に水族館に居る人たちの姿が青いシルエットで浮かびあがってくる。

魚たちは中央でうずくまって動かない。

矢部 長かったな。

大下 終わらないかと思いました。

高屋敷 怖かったあ…。

矢部 津波が来るかもしれない。

たま子 お客様を誘導して避難しましょう。

小向 はい。

広崎 早く外へ…。

女子職員、来場者を連れて去ってゆく。矢部たち去りかける。

落合 この子たちは。

奏多 電気も無いし…。

矢部 まずは避難だ。

落合 えっ。

矢部 わたしたちが、生きなければ…。

落合 ……。

たま子 そうね。

落合 そうですね。

奏多 みんな、きつともどってくるからな。元気でいろよ。

矢部たち、助け合うようにして去ってゆく。

落合、後ろ髪を引かれ立ち止まるが、思いを振り切るように立ち去る。



## 2ND あの日 あの時

津波のシーンを入れるならここ。舞台監督から要望有り。  
作者としては、入れても無くても可。演出と舞台監督で要相談。

### ① 水槽の中

水槽のエリアだけに静かに薄い明かりが落ちる。水槽エリアの水の中の仲間たちがむくむくと少しずつ動きだす。

再度、余震が起こる。

ぐぐぐぐぐぐ

水の中の仲間たちの動きがまた止まる。

地響きが大きな振動に代わり、水の中まで、大きく揺れる。

カメたろう あれえええ。

ウミフクロウ うわあああああ。

地震が治まる。

水中のいきものたちは、洗濯機の中のシャツみたいに、もみくしゃになって、水の中でぐるぐるまわっている。

地震が治まって、水の中も静かになった。

カメきち みんな、大丈夫か。

カブトガニ おらあ、酔っぱらっちゃった。

オウムガイ 何が、どうなったんだ。

エビ 水槽がひっくりかえったか。

ヒトデ 誰か、水をかきまわした？

また、ぐらぐら揺れ出す。

ハコフグ いつまで続くんだらう。

ヒトデ 怖いねえ。

ざあああああ。という、水が押し寄せる音がする。

ハコフグ 何だらう。

カブトガニ 何だらう。

ヒトデ 雨かな。

カメたろう 雨じゃない。

エビ 雨ってなあに。

オウムガイ 君は、ここで生まれたから知らないのか。

カメきち この外の世界では、水の上のもっと上から、しよっぱくない水が落ちてくる。

カメきち それが、雨だ。

ざああああ。

また、大きく水が流れる音がする。

カメたろう 水槽が壊れたかな。

カブトガニ 水槽が壊れたら、水が無くなっちゃうだろうが。

ヒトデ じゃあ、やっぱり雨？

カメきち 違うよ。

エビ 違う？

カメきち たぶん…。

ウミフクロウ たぶん？

カメきち 地球がひっくり返った。

みんな ひえええええ。

明かりが薄暗くなってくる。

ハコフグ あれ、暗くなってきた。

オウムガイ いつもなら、電気がついて明るくなるんだけどな。

カメたろう まあ、しかたないさ。夜は暗くなるものさ。

カブトガニ 暗くなったら寝ればいい。

エビ ちよっと怖いけどね。

ヒトデ そう、怖いけれど、眠ればいい。

カメたろう おやすみ、みんな。

みずのなかま（それぞれ）おやすみ…。

音楽が流れる。

水の中の仲間たちは、音楽に合わせてるように、水の中をゆらゆらと漂う。

## ② さよならハコフグ

舞台上に明かりがさしてくる。

ヒトデ おなかがすいたなあ。

エビ ごはんがふってこなくなつて、何日経つんだろう。

カメたろう 誰か来てくれないかなあ。

ハコフグが、ゆらゆらしたまま浮いている。

オウムガイ どうした、はこぶぐ。

ハコフグ …おなか、すいた。

カブトガニ がんばれ！

ハコフグ 息がくるしい。

カメたろう がんばれ！がんばれ！がんばれ！

ハコフグ これでも、…とつても…とつても、…がんばったんだ…よ…。

ハコフグは、ゆっくり揺れるようにひっくり返って、消えてゆく。

カメたろう ハコフグ、がんばれ！がんばれ！がんばれ！

ウミフクロウ カメたろう。もう、いい。

カメきち ハコフグは十分がんばったよ。もう、無理させなくてもいいじゃないか。

カメたろう ハコフグ…。

オウムガイ ハコフグ、ありがとう。

カブトガニ 友達でいてくれてありがとう。

ウミフクロウ ずっと、ずっと忘れないから…。

ヒトデ 遠くに行ってしまったても、ずっと、友達だからね。

カメきち さようなら。ハコフグ。

みんなは、はこぶぐが浮かんでいった、水槽の高いところをずうっと見続ける。

### ③ 救援

すると、ギギギギという、戸が開く音がして、水槽の中に四角い明かりが入ってくる。

舞台後方に、矢部と、奏多と、落合が現れる。その声は、水槽の中で聞こえるように、反響して響き渡っている。

矢部 どうだ。

落合 濁っていて見えません。

奏多 …ちよっと待って下さい。

矢部 どうした。

奏多 …カメキチが生きています。

矢部 そうか。良かった。良かった。  
落合 まだ、生きているのがいるかもしれない。探しましょう。  
矢部 そうだな。  
落合 今まで、来られなくてごめんな。  
奏多 今、餌もあげるからまってるよ！  
落合 カメたろうもいます。  
奏多 オウムガイも生きてます。  
矢部 できるだけ、連れて行こう。その後は…  
落合 その後は…  
矢部 その後考えよう。  
奏多 はい。  
落合 みんな、よくがんばったな。

三人は、黙々と水の中の生き物の救出作業を続けている。

カメたろう ああ、助かった。  
オウムガイ もう少し、生きていても良いんだね。  
ウミフクロウ もちろんだよ。  
エビ ハコフグは？  
カメきち わしらは、ハコフグの分も精一杯いきていかにやあならん。  
オウムガイ そうだね。それがぼくたちに行きましょことだね。  
ヒトデ みなさん、生きていきましょことだね。  
水の仲間たち ああ。

静かに明かりが消えてゆく。

暗転

【音楽】曲…あいさつの魔法

※ PDS Dを引き起こしそうな場合や、演出・音響さんがちょっと違うというときは、無理に入れなくても構いません。

### 3RD 4月の風景

暗転の中、音楽が消えると、波の音だけが残る。

中空に星座が浮かび上がる。『？』マークを逆にしたような形のしし座の頭、獅子の大釜の形がくつきりと見て取れる。

街の明かりが全て消え、日頃なかなかは見ることができない星空を意識することができた。純粹に星が奇麗だと感じて、それを言っては不謹慎だという気がして、口に出せなかった。そんな人たちも多かったのではないだろうか。

白々と夜が明けてゆく。それに呼応するかのように、静かに獅子の大釜が白々と明けゆく夜空に溶け込むように消えてゆく。

夜が明けると、舞台にあったトンネル水槽の前には瓦礫が横たわりに覆われその姿を隠している。(そのわきで、生々しい現場の様子を中継している北三陸テレビの江根知圭に扮した設定の愚息さんが、中継を終えて現場を退散する。) その中央で作業服姿の矢部が黙々と作業をしている。そこへ、表情に疲れをにじませた落合が現れる。

落合 お疲れ様です。

矢部 はい。

落合 書類などで濡れてないものは、運びました。

矢部 あ、ああ。ありがとう。

そこへ、汗をぬぐいながら奏多も現れる。みんなが疲れた様子を見せている中、元気いっぱいいたま子も現れる。

奏多 ポンプの洗浄終わりました。

落合 動きました？

奏多 動いた。動いた。使える。

落合 おお。

矢部 使えるものが一つでもあると、希望が湧いてくなあ。

奏多 そうですね。

たま子、チョコレートを配る。

※作家的にはお口の恋人ロッチェのクランキーかガーナチョコだけでも、演出的にコアラのマーチなどにしても構いません。

落合 たま子さん、どうしたんですか。コンビ二開いてませんでしたよ。  
たま子 十段のささきさんそこで買ってきた。

奏多 売ってくれたんですか。

たま子 いざとなったら、個人経営の店は強いねえ。ろうそくで明かりをとって、電卓たたいで、売ってくれた。

矢部 こういう状態になると、本当のものが見えてくるね。本当の強さとか、たくましさとか。

奏多 本当の優しさとか。

落合 たま子さん本当に強いっす。

たま子 『本当に優しいです。』でしょ！

落合、肩をすくめ、チョコを食べる。

奏多 チョコレートうれしいです。ありがとうございます。

落合 戦争のあと、アメリカ兵が持ってきたチョコレート、旨かったんだろうな。

矢部 今まで思いもしなかったいろいろなことを、ふと感じさせてくれるね。

チョコを食べながらひと息つくと、落合が何かを思い出したようにつぶやく。

落合 …社長、カメキチどうすんすか？

矢部 どうするって、水槽が無いからなあ。

落合 そりゃあ、そうっすけど。生きてるんですから…。

矢部 そうだな。

たま子 …あのさ…。

落合 何。

たま子 もう、やめよう。

落合 何を…。

たま子 社長に答えさせるの…。

落合 答えさせる？

たま子 社長、決めなきゃならないことがいっぱいあるんだから…。

落合 …。

たま子 『ごうしませんか。』って言うおうよ。ごめん、きつい言い方だった…。

落合 いえ。

奏多 …そうですね。

落合 すみませんでした。

矢部 いや、…そう。…ありがとう。

#### 4TH 今できること

そこへ、ヘルメットをかぶった市職員（新田・上館・高橋）の3人が現れる。

上館 みなさんお揃いで。

落合 揃ってるってわけでもないけど…。

高橋 この度は、えっと、えっと、痛み入ります。

落合 『痛み入ります？』それって、使い方が違くない？

高橋 す、すみません。えっと、ご愁傷様、いや、お悔やみ申し上げます。

落合 縁起でもねえ！ 誰も死んでねえし…。

高橋 あっ、そうですね。すみません。でも、魚たちが…。

落合 はあ？。

奏多 まあまあ。

高橋 すみません。何を言っただい分かります。

上館 そんな時は、はい。御口にチャック♡

新田 矢部さん。お疲れ様です。

矢部 はい。ありがとうございます。

新田 役場でも、できる限りのことはしますから

矢部 感謝します。

高橋 何でも手伝いますから。

落合 はあ？

高橋 また、何か失態を犯したでしょうか。

落合 俺たちに管理を委託してるのが市でしょう。手伝うんじゃない、そ

ちが主でやるべきでしょうが！

奏多 まあまあ。

高橋 …すみません。

上館 高橋くん。御口にチャック♡

落合 何を言われても腹が立つんですけど…。

矢部 みんな、何をして良いかわからないところを、精一杯やってくれてい

るんだ。感謝しようよ。

落合 …わかりました。

矢部、新田に近づいて話します。

矢部 海女センターのこと等もあるのに、こちらに足を運んでくださいます  
て、ありがとうございます。

新田 いえ。全てが手探り状態で…何からしていけばいいかわからなくて。

上館 とりあえず走ってます！

矢部 何かしていれば、先が見えてきますからね。

新田 何でもいいから動きましょう。

落合 何でも。

新田 ええ。

上館 動いていれば何をして良いか見えてくる、かも。

落合 良いことありますね。

奏多 ……私たちは、社長と仕事ができれば何でもやります。

新田 その気持ち、大切ですね。

落合 社長を信じてるんで…。

そこへ、小向と広崎が現れる。

たま子 どうしたの。自宅待機でしょう！

広崎 自宅待機って言われても、ねえ。

小向 奏多さんとか、落合さんも来てるんだとうなって思っ…。

たま子 まだ余震があるじゃないの。危ないわよ。

小向 それは、みんな同じじゃないですか。

広崎 片付け、手伝わせてください。

たま子、矢部の顔を見る。矢部、黙ってうなづく。

たま子 じゃあ、こっち来て。

と、そこへ、法螺、高屋敷、大下も現れる。

法螺 すみません。

高屋敷 来ちゃいました。

大下 家にいても、なんかねえ。

法螺 なんか、やらせてください。

大下 やることありますよね。

高屋敷 水槽の掃除とか…。

たま子、あきれた表情で…。

たま子 あんたたちは、全く！みんな、来なさい。もしかして、まだ生きてる

子たちがいるかもしれないから、探すよ。

大下 はい。

法螺 やっぱり、やることあったじゃない。

高屋敷 来てよかったね。

たま子 でも、地震が来たらすぐ非難するよ。

小向 もちろんです。まだまだ、死んじゃうわけにはいきませんから。結婚もしなきゃいけないし…。



広崎　ありやりや。そこだけは、負けるわけにはいきませんな。  
たま子　あんたたち、こんな状況でも緊張感無いねえ…。

女子職員たち、たま子に引き連れられて去ってゆく。

新田、その様子を見送りながら、神妙な顔つきになる。

新田　矢部さん、ちょっと…。

新田、矢部を隅につれていく。

新田　良いスタッフですね。

矢部　はい。

新田　こんな状況でも、矢部さんを慕ってついて来ようとしている。

矢部　はい。

新田　うらやましい限りだ。

矢部　はい？

新田　私は、いつも良かれと思ってしたことが裏目に出る。部下のことを思  
って言ったことで、部下を傷つけてしまうこともある。

矢部　…新田さんにもそういうことがあるんですね。

新田　いつもですよ。矢部さんの経営を見習いたいものです。

矢部　あ、ありがとうございます。

新田　それで、この有能なスタッフを路頭に迷わせないために、一つの決断  
をして欲しいんです。

矢部　何でしょう。

新田　全員を解雇してください。

矢部　は？みんなを辞めさせると…。

新田　そうです。

矢部　このまま、瓦礫撤去でも良いので仕事をさせていただくことはできな  
いんですか…。

新田　今のところ瓦礫撤去は、自衛隊やボランティアにお願を  
している、民間の人を新しく雇うことまで、まだ至っていないんです。

矢部　何とかありませんかね。

新田　今後はそういった動きが出てくると思うのですが、今の段階では…。

矢部　そうですか。

新田　まず、国の方針が決まらないと。

矢部　…。

新田　国からの緊急雇用の予算が出れば、雇用はできると思うんですが…。

矢部　…。

新田　それに、出るようになったとしても、半年後になるか、1年後になる

か…。  
はあ。

新田 所詮、行政はそんなものです。お力になれなくて残念です。  
矢部 市で雇ってもらうことはできないのでしょうか。非常勤で良いので…。  
新田 今の段階で、市だけで、水族館の皆さんの雇用を確保できる体力はありません。

矢部 ……。  
新田 そう。だから、今の仕組みでできることは、解雇して、失業保険をもらっていただくことなんです。

矢部 ……。  
新田 もちろん、社長さんもです…。  
矢部 今のままでは、給料を支払えませんかね。

新田 …… スタッフの皆さんと、社長の家族のことを考えれば致し方ない。  
矢部 ……そうですね。

新田 国の方針が決まったら、すぐにまた、ここのスタッフに集まってもらいましょう。

矢部 ええ。…いろいろと有難うございます。

新田 いざという時のための行政なのに、自分が不甲斐ないです…。

矢部 そんなことはありません。

新田 ご理解ください。

矢部 ……全員解雇ですか…。

新田 不器用なもので、伝えなければならぬことを、上手く伝えられないんです。気を悪くなさったのでしたら謝ります。

矢部 いえ。

新田、上館と高橋のもとに歩み寄る。

新田 今日帰ります。今の件、考えていてください。

矢部 考えろと言われても、そうするしかないんですね。

新田 今は…。

新田、上館と高橋を促すように去る。

矢部 奏多君、みんなを呼んでくれ。

奏多 何ですか。

矢部 良いから…。みんなが来たたらちゃんと話す。

奏多 は、はい。

瓦礫の撤去、水槽の生き物探し、掃除などをしている職員が三々五々集まってくる。

矢部 みんな、まだ危険な状態なのに来てくれてありがとう。

小向 そんな、私たちは、この職員ですよ。

広崎 水臭いこと言わないでください。

矢部 大事な話を伝えなければならぬんだ。

落合 大事な話ってなんすか？

矢部、一呼吸おいて話し出す。

矢部 みんなごめん。このまま、一緒にやっていこうと思ったけど、それはできそうに無い。

落合 どういうことっすか。

矢部 今のままでは、給料を支払うことができないんだ。みんなを雇い続けることはできない。

小向 給料なんて良いです。ボランティアでもなんでも良いです。水族館をもう一度やりましょう。

広崎 それまで一緒にやらせてください。

矢部 若い君たちはボランティアでも良いかもしれない。でも、家族を養っていかなければならない人たちもいるんだ。ボランティアでずっとという、わけにはいかない人も居るんだよ。

小向、周りを見渡す。奏多、落合、顔を伏せる。

矢部 さしあたっての収入を得るためには、形ばかりだが一度全員に辞めてもらって、失業保険をもらってもらう。

法螺 …私たち、みんなクビですか。

矢部 再会の目途が経ったら、すぐにみんなに連絡をします。そしたら、みんな、戻って来て欲しい。

落合 もちろんですよ。なあ。

小向 もちろん来ます。

広崎 もちろん。

高屋敷 私も。

法螺 私も。

大下 私も。

矢部 でも、それが何年後になるか分からない。給料もどれだけ支払えるかわからない。その時、今より自分に合った仕事に付けていたならば、戻ってこなくてもいいです。今より良い給料の仕事ができていけば、そちらを優先して構いません。

小向 社長。何を言うんですか。戻ってきますよ。

広崎 そんな、悲しいこと言わないでください。

矢部 一日も早くみんなが戻ってこられるように、全力を尽くします。でも、人の幸せよりも自分の幸せを優先して下さい。みなさんとは、もう一度一緒に仕事をしたい。でも、この会社はここでいったん解散です。

広崎 社長。

高屋敷 ……社長。

沈黙が続く。

たま子 ……写真を撮ろう。

奏多 写真？

たま子 ここで、こうして再会を誓いあった証のため。

小向 今日の日を忘れないため。

高屋敷 ……良いですね。

広崎 じゃあ、私のカメラで撮りますね。

瓦礫をバックに、全員が身を寄せる。

広崎 タイマーで撮りますよお。

広崎、カメラを置いて、カメラのボタンを押してから走ってみんなの輪の中に入る。

たま子 みんな、また声をかけたら集まってくれかな？

全員 いいとも！

『カシャッ』（シャッターの音）

半泣きの笑顔のまま、場面が溶けてゆく。

（そのとき、愚息さんは、水族館職員日陰に扮して、まるでスタッフの一員かのようにその輪の中に入り写真に写りこんでいる。）

暗転

## 5TH まちなかへ水族館

明転すると、瓦礫がある程度撤去されている。(最後の瓦礫を被災地に災害復旧に派遣された川井刑事という設定に扮した愚息さんが撤去し、舞台から去る。)被災状況が生々しい水族館の内部が露わになっている。瓦礫があった場所には立入禁止の表示がついたバリケードが設置してある。

その場所で落合と奏多が機材を運び出している。  
そこへ、矢部が現れる。

矢部 申し訳ない。解雇したのに。

落合 仕事とかっていうレベルでやってるんじゃないっすから。

矢部 じゃあ。

落合 人としてって感じすかね。

奏多 カッコつけすぎでしょう。

矢部、少々もったいぶって、落合・奏多に話しかける。

矢部 人としてやっているお二人にご相談です。

奏多 何でしょう。

矢部 新田さんから良い話が来たんです。

落合 何ですか。

矢部 市が駅前の家具屋の空き店舗を借り上げてくれたんです。そこで、地域振興になることであれば何でもいいからやってくれと…。

奏多 新田さんもなかなかやるじゃないですか。

矢部 本当、人のために尽くしてくれる方なんです。

落合 部下もそうだけど、悪い人じゃないんだけど、言い方で損してるからな。

奏多 それは、あるね。良い仕事してるのに…。

矢部 それで。みなさんにもお手伝いいただければと…。

落合 そりゃあ、勿論、社長と一緒に…。

矢部 一緒に…。

落合 できれば、水族館を…。

奏多 できれば良いね。

落合 見に行ったんですか？

矢部 見に行った。案外広かった。

奏多 何もないからね。

矢部 閉店セールにも来たんですけど、あんなに広いイメージはなかったなあ。

落合 …そこで、やれるんですか。

矢部 …やる。

落合 何もないですよ。

矢部 やる。

落合 水槽が無いですよ。

矢部 どうにかする。

落合 どうにかって…。

奏多 社長が、どうにかするって言うてるんだから、どうにかなるんだ。

落合 そ、そうっすね。

矢部 どうにかする。

落合、空を眺めながら…。

落合 緊急雇用の回答はまだ無いんすよね。

矢部 ええ。

落合 場所だけ決まってもねえ。

矢部 どうにかなる。

落合 社長も収入が無いじゃないですか。

矢部 どうにかする。

落合 どうにかって…。

奏多 社長を信じよう。

落合 だって、どうにかって言ったって…。

奏多 社長を信じよう…。

落合、矢部を見る。矢部、目をつぶって静かに頷く。

落合 はい。

そこへ市職員の上館が変なテンションで現れる。

上館 落合くん。

落合 あっ。上館さん。手伝ってくれるんすか。

上館 いやいや、

落合 だったら帰って良いですよ。

上館 もう、つれないんだからあ。

落合 邪魔するんなら帰ってくださいよ。

上館、邪魔にならないような位置を陣取り話しだす。

上館 …でも、皆さん、偉いです。給料出ていなくてもこうして集まって瓦礫の処理をしてるんですから。

奏多 ボランティアでやってるだけです。

矢部 本当、申し訳ないんだ。

上館 ありがたいです。でも、私は本務ではないので手伝うのはちょっと…。でも、ちよっとやっちゃおうかなあ…。

落合 茶化しに來ただけなら、叩き出してやる！

落合、上館につかみかかろうとする。

上館 ちょ、ちよつと待ってくうださい。今日は良い情報をお持ちただけですよお。

奏多 情報って、何ですか？

上館 国の緊急雇用が決定しました！ぱっぱらっぱぱあ！拍手う！  
落合 どういうこと？

矢部 国がお金を出して、私たちの給料を出してもらえらること！

奏多 駅前の空き店舗っていう仕事ができる場所が決まって

落合 給料を出してもらえらるメドが立ったということは…。

矢部 水族館再開です！

三人、大いに喜ぶ。

奏多 こんな大切なことは、新田部長さんが自分で話に来れば良いのに…。

上館 自分、不器用ですから…。ってな感じですかね。

落合 部下に、おいしい仕事をさせて、それでも嫌われてるんですか？

上館 嫌われていると思っただけです。

奏多 悪い人じゃないのに…。

上館 再開に向けて、忙しくなりますね。じゃあ、運ぶのを手伝いま…。

ちらつと落合を見る。

上館 手伝いではありませんね。一緒に運びましょう。

ちらつと落合を見る。落合、満足げに頷く。

そこへ、超ダッシュで高橋が現れる。

高橋 水族館、水族館でお願いします。

奏多 何ですか？

高橋 駅前の家具屋の空き店舗で活動するということでしたよね。

矢部 何でもいからしてくれって新田さんに言われました。

高橋 水族館にしてください。

落合 言われなくても。そのつもりですが。

高橋 水族館じゃなきゃダメなんです。

奏多 私たちもそう思っていますが…。

高橋 水族館をしなければならいんです。

落合 面倒くさい男だな！何が言いたいかはつきり言えよ！

高橋 アクアリウムパフォーマンスアーティストのクリオネさんが、全面的にプロデュースをしてくれると、事務所を通して市長のところに連絡が入ったんです。

落合 クリオネちゃんプロデュースの水族館！

奏多 それは、すごい。社長、良いですね

矢部 もう、来るものは全てウエルカムです！

そこへ、たま子が現れる。

たま子 市長から直々電話が入ったわよ！クリオネちゃんが！

落合 聞きましたよ。

たま子 もう、私が最初に教えたかったのに！

上館 どうも、すみません。

たま子 近隣の町の情報も入ってきたわよ。

奏多 どうなんですか。

たま子 隣の市の水族館は被災していないって…。

奏多 えっ。

たま子 カメきち預かってもらえるかもよ…。電話。

矢部 はい、はい。

矢部、携帯電話を取り出して電話を見る。

矢部 …何番だっけ。

たま子 こないだ、登録したでしょう。

矢部 あっ。そうだった、そうだった。

たま子 それと、愚息さんとここで車を出して、サンシャインで余っている水槽を、運んでくれるって。

落合 水槽、来るんすか？

たま子 カメキチが入るくらいのもは無理だけどね。

落合 でも、水族館再開の目途はつく。

奏多 駅前でも、やれそうですね。

矢部 ああ。

たま子 後、クリオネちゃんとここで飼っている魚も、水槽ごと提供してくれるって…。なんだって、クリオネプロデュースですからね。

落合 そりゃあいい。

奏多 なんだか…。

落合 何ですか。

奏多 一気に、雲が晴れてきた感じですね。

矢部 ありがとう。ありがとう。



矢部、周りにぺこぺこ頭を下げる。

たま子 やだ、誰にお礼言ってるのよ。

矢部 みんなに。いや、全部に。……全部に。

奏多、遠い目をしてつぶやく。

奏多 水族館を自分たちで0から作るっていうのも…。

落合 作るっていうのも。

奏多 なんだか、わくわくする…。

落合 そうですよ。俺たちが作る水族館ですから、わくわくしますよ。ねえ社長。

矢部 借りて使う水族館じゃない。私たちの水族館…。

たま子 そう、そして、協力してくれるみんなの水族館。

落合 みんなの水族館？

たま子 そう、みんなの！

矢部 みんなの水族館！

上館 良いですね。

矢部 そう、良い。とっても良い！

全員、新しいスタートを切ることができることへの希望を胸に、満面の笑顔で幕が下りる。

## 第二幕 まちなかの風景

6TH まちなか水族館オープンに向けて

トンネル水槽の舞台装置は中割り幕で隠される。中割り幕は紗幕を使い三幕のスタートに備える。

紗幕前の舞台は、まちなか水族館。特に何も無い風景で良いが、パーティーシヨンを配置してもよい。

時間の経過を見せるために、徐々にパーティーシヨンを増やしていっても構わない。

すでに旧水族館職員に召集がかかり、矢部以外、全員が集まっているという風景のイタ付きへの明かりのカットインから場面は始まる。

小向 じゃあ、水族館の仕事を続けて良いってことですね。

大下 給料も出るんですね。

たま子 そういうこと！

職員、やったあ等口々に喜びを表す。

法螺 私たち採用だ！

たま子 ちょっと待って。それは違う。

広崎 どういうことですか。

たま子 社長が面接をして、オッケーにならないと使ってもらえませんよ。

法螺 そうなんですか？

奏多 社長は全員雇ってくれるよ。

落合 心配ないっす。

広崎 本当ですか。私、ここで使ってもらえなかったら、真剣に嫁入りを考えなければと思ってるんです。

奏多 それはめでたい。

高屋敷 お相手は。

広崎 これから。

落合 そりゃあ、水族館が1日で再開するより難しいかも。

広崎 おい、おい。

全員笑顔で笑いあう。

そこへ、矢部が現れる。

法螺 社長！ありがとうございます。

矢部 まだ、何も言っていないよ。

広崎 緊急雇用いけることになったんですね。

矢部 ええ。…情報が早いですね。

法螺 そして、ここで、水族館やれることになったんですね。

矢部 はい。

高屋敷 私たちは…。

矢部 私たち？

小向 …また、ここで働かせていただけるんですね。

矢部 『？』という表情になる。

矢部 あれ？専務…。

たま子 はい。

矢部 あれは？

たま子 出しましたよ。今朝。

矢部 というわけだ。

大下 よくわかりません。

矢部 皆さんに、またここでお願いしたいという文書を今朝郵送で出しました。

小向 そんな、ここでみんなに話してくださいよ。

矢部 とりあえず、形式ですから。

広崎 郵便局だって、まだ機能回復してないんでしょう。

矢部 そうですね。そうでした。

たま子と矢部以外、全員『あゝ全く！』という表情で苦笑いをする。

矢部 改めてお願いします。緊急雇用ですので、給料も高くありませんが、みなさん、また一緒に働いてください。

全員 はい。

落合 ありがとうございます。

たま子 お嫁に行かなきゃならない人は、止めませんよ。

広崎 残念ながら、止めてもらった方が言い訳になるかもしれません。

矢部、大事なことを思い出す。

矢部 そうそう、表に水槽を積んだトラックが来ている。

たま子 そういう話は、早く言う。落合君、行くよ。奏多君も…。

落合 は、はい。

奏多 わかりました。

たま子と、落合、奏多は作業をするために出ていく。

## 7TH 被災地支援の青年

入れ違いに、ビブスを着用した一人の青年（紫縁<sup>しえん</sup>）が入ってくる。胸には災害ボランティアセンターのシールが貼られてある。

紫縁 こんにちは…。

広崎 はい。何ですか。

紫縁 市のボランティアセンターから紹介されて来ました。

広崎、紫縁のそばに歩み寄る。

紫縁 被災地支援のボランティアの者です。僕にできることがあればと思ってやってきました。

紫縁の前に立った、広崎、色めき立つ。

音楽フジテレビ『月9』のベタな曲。目をぱちくりさせる広崎。

一瞬にして恋に落ちた、広崎は街灯に吸い寄せられる羽虫のように、紫縁のそばに更に寄ってゆく。

広崎 私を救いに来たのですね。

紫縁 『皆さんを』ですけど。とりあえず、何でもしますので、言いつけてください。

広崎 それじゃあ、私と…。

木下 すみません。その長机出してもらって良いですか？

紫縁 は、はい。

広崎 こんあ好青年を、そんなことに使っちゃダメでしょう。

木下 でも、何でもするって、話してくれているので…。すみません。  
紫縁 いえ、良いんです。そのために来たんですから。

小向、作業中に滑って転びそうなる。

小向 あっ。

ふらついた小向を、紫縁が助け起こす。

紫縁 大丈夫ですか。

小向 す、すみません。

月9のベタな音楽。

広崎 あれ、その手があったか！くそお、やられたあ。小向ちゃん、小向ちゃん、ちよっと大丈夫。

その良い雰囲気わざと壊すように、広崎その間に割って入る。

小向 すみません。大丈夫です。

広崎 全く…。気を付けようんね。ここで、怪我でもしたら、迷惑がかかったらやうからね。

広崎、小向を助けるのを装い、紫縁との距離を測り、あからさまに…。

広崎 あっ。

広崎、転びかけるが、その時には紫縁は別の場所に移動し、そこには誰も居ない。広崎、自滅、顔面を強打する。

広崎 行ってえ…。

法螺 どうしました。

広崎 な、何でもないわ。

大下 足がもつれるお年頃ですから、気を付けてくださいね。

広崎 なにいつ。優しそうでいて、刺さってくる言葉…。

高屋敷 先輩。ドンマイです。

広崎 私は、どんなことをしてもあきらめないわ。くじけそうになっても何度でも立ち上がって見せるわ。私の夏は終わらないのよ！

大下 紫縁に話しかける。

大下 紫縁さんは、いつもはどんなお仕事なさってるんですか。

紫縁 まあ…、ギターを弾いています。

法螺 仕事ですか？

高屋敷 ミュージシャンじゃないですか。

紫縁 ええ、まあ。

広崎、耳をダンボにして食いついてくる。

広崎 ミュージシャンですってえ。ミュージシャンが白い馬に乗って私のもとに駆けつけてくれた！

広崎、紫縁にかぶりつく勢いで迫るが、高屋敷、大下、法螺に引きはがされ

る。

紫縁、小向に話しかける。

紫縁　　この水族館には、クリオネ…さんも来るんですよ。

小向　　は、はい。とっってもお世話になっています。クリオネちゃんのお知合いですか。

紫縁　　ええ、まあ。

小向　　お会いできるといいですね。

紫縁　　は、はい。

少しの間、水族館内部の片づけをする。

仕事がひと段落し、小向が缶ジュースを持ってきて、みんなに配る。

小向　　あとは、水槽が来てからね。はい、ジュース。…紫縁さんも…。

紫縁　　あつ、ありがとうございます。でも、被災地支援の基本は、自給自足で…。

法螺　　硬いこと言わない。

高屋敷　　人の好意は素直に受け取ってください。

紫縁　　あ、ありがとうございます。

紫縁、缶ジュースを受け取る。

その場所に居た女子職員5人と紫縁は、椅子を出して座る。

小向　　ミュージシャンがどうして、被災地のボランティアなんかに。

大下　　どうせなら、避難所で演奏すれば良いのに。

紫縁　　今は、バンド解散しちゃったんで…。歌い手が居なくて…。

法螺　　メンバーが仲良くやっていくのは大変なんですよねえ。芸能界も大変だ。

紫縁　　震災が起こって、なんだか自分のやっていることがちっぽけに思えて…。

高屋敷　　ふうん。

紫縁　　もう一度、何にもないところから自分を見つめ返せば何かが見えてくるかと思って…。

大下　　自分探しですか。

紫縁　　そう思われても仕方ないです。この皆さんに申し訳ないです。

広崎　　自分探し、良いじゃないですか。私も自分が何者かいつまでたってもわからない…。

小向　　思っているだけで何も動かない、言っているだけで何もしない…。世の中はそんな人がほとんどです。そんな中、ここに来てくださっただ

けでもありがたいし、素敵なことです。

紫縁 ……ありがとうございます。気持ちが一軽くなりました。うちのバンドで歌っていた曲、オーバーアゲインの精神でやってみます。

法螺 オーバーアゲイン。

紫縁 全てが終わってしまったと思われるところから……もう一度……。それが、オーバーアゲイン。

小向 ……その曲って……。もしかして、クリオネちゃんの曲……)

紫縁 今日は帰ります。また、お手伝いしに来ても良いですか。

広崎 どうぞどうぞ、お待ちしております。

紫縁、一礼して去る。

高屋敷 ……オーバーアゲインか。

小向 私たちのテーマソングになりそうね。

全員、遠い目をして紫縁を見送る。

8TH 岩手県の宮沢賢

そこへ、音楽とともに、コート姿でハットをかぶり、宮沢賢治風の四角のい  
トランクを持った一人の人物が現れる。

宮沢 雨にも負けて 雪にも負けて

夏の暑さにも負けた わが人生…。

欲だらけで

決して笑わず

いつも静かにいかってる

そういうものです この私

宮沢、恰好をつけて立ち止まる。

宮沢 宮沢です。

法螺 あの、どちら様でしょう。

宮沢 宮沢です。

高屋敷 はあ？

宮沢 岩手県から来た、宮沢賢です、宮沢です。

大下 岩手賢なんですか、宮沢賢なんですか？

宮沢 岩手県から派遣されてきた、宮沢賢です、宮沢です。

高屋敷 紛らわしいなあ。

宮沢 岩手県というのは所属です。宮沢賢というのが名前です。

広崎 宮沢賢さんでもないんですね。

宮沢 賢治ではありません。賢です。宮沢賢です、宮沢です。

高屋敷 ややこしいなあ。

矢部、忘れ物を取りに来た風に現れる。

小向 社長、良いところに帰ってきてくださいました。この方が…。

矢部 はい。どうも。…どちらさん（小向へ）

小向 岩手県から来た、宮沢賢さんだそうです。

矢部 岩手県の宮沢賢？ややこしいな。

宮沢 社長さんですか。初めまして、岩手県の宮沢賢です。

法螺 フルネームまでいう必要ないじゃない？

みんな、そう思うけど『まあまあ…。』とたしなめる。

矢部 そして、宮沢さん。今日は何しにおいでになったのでしょうか。

宮沢 査察の結果のお知らせです。



大下 左に曲がるんですか？

小向 それは、左折。

法螺 紙のお金ですか。

小向 それはお札。

高屋敷 こすって、こすって、あっちいっ！

小向 それは、摩擦。

広崎 よくわかったねえ。

宮沢 あのお。

広崎 何ですか。

宮沢 話を戻しても良いですか。宮沢です。

広崎 今、取り込み中。

矢沢 宮沢さん、今日は何しにおいでになったんですか？

宮沢 矢沢に握手を求める。

宮沢 最近の若い子たちは、私の話を聞いてくれないのです。あなただけが頼りです。恩に着ます。

矢沢 だから、何しに…。

宮沢 査察、いや…検査の結果のお知らせです。検査。

たま子 何の検査ですか。

宮沢 防火設備の点検です。消防法でこの店舗が使えるかどうかの検査をしなければならなかったんです。先週、消防署の方から査察に来ましたよね。

高屋敷 怪しいなあ。消防署の方って、消防署の人じゃない人が、消火器を騙して売りに来るときに使う手口じゃないですか。

法螺 怪しいなあ。

大下 怪しいなあ。

宮沢 決して怪しいものではありません。

法螺 怪しい人に限って自分では、怪しくなって言うよね。

大下 私は変質者ですってという変質者はいないもんねえ。

法螺 いないもんねえ。

宮沢、 矢部に助けを求める。

宮沢 いつもこうなんです。職場でも、家でも…。意味の分からない分野に持っていかれて、私を困らせるのです。リンダ困っちゃう。

大下 何ですかそれ。

法螺 リンダなんとかって…。

宮沢、 また、矢部に助けを乞う。

宮沢 ほら、山本リンダを知らないんですよ。わかってくれるのはあなただけです。わかりますよね山本リンダ。

矢部 も、もちろんです。

宮沢 ウララ、ウララ、ウラウラで。

矢部 ウララ、ウララ、ウラウラよ。

宮沢 ウララ、ウララ、ウラウラの

宮沢・矢部 この世は私のためにある。

二人がつつり握手をする。

宮沢 社長。あなたって人は…。岩手県は、全面的に水族館の復興を支援します。

矢部 あ、ありがとうございます。そして、その査察の結果はどうだったんですか。

宮沢 そう、大事なことを話し忘れるところでした。実は、消防法でひっかかって、二階は使えないということなんです。

矢部 ええっ。

広崎 前は家具屋で使ってたじゃないですか。

宮沢 使えないといっても、水族館として使えないということで、他の事なら大丈夫なんです。

小向 水族館で、水族館以外に使ってどういうことですか。

高屋敷 全面的に水族館の復興を支援しますって言ったさっきの言葉は嘘だったんですね。大人は信じられません！

高屋敷泣き出す。

広崎 あああ、泣かしちゃった。

宮沢うろたえる。

大下 市役所の新田さんも使って良いって言ったのに、嘘だったんだ。大人は嘘つきだあ！

大下も泣き出す。

宮沢、さらにうろたえる。

広崎 女の子を二人も泣かせてしまって…。それが、岩手県のやり方か！

宮沢 震災だから特別に許されること、震災に関係無く守らなければならぬ決まり。そういうものがあるんです。私も心苦しいです。でも、決

まりなんで…。

法螺 きまり、きまりって、あんたたちは私たちをどうしたいの？

宮沢 決まりの中で精一杯助けたい。それが、本音です。

矢部 わかりました。みんな、良いんだ。宮沢さんが悪いわけじゃないんだ。きまりを守った中で、できることをしていこうじゃないか。

宮沢、矢部の手を取る。

宮沢 社長。行政の私たちは、常々悪者にならない場面に遭遇します。仕事ですから仕方がありません。でも、今回は皆さんから嫌われ者になったまま終わりがたくない。ぜひ、何らかの形で力になりたい。

矢部 そのお気持ちだけで十分です。

宮沢 社長。ありがとうございます。それではまた来ます。宮沢です。

宮沢、涙ながらに去る。

小向 社長、人が良すぎますよ。

矢部 良いんだ。どうしようもないことだから。それに、2階にまで展示するほど水槽もないしね。皆さん、いいアイデアを出してください。

広崎 わかりました。脳みそを絞って、アイデアをひねり出します。

そこへ、たま子が先導して、落合と奏多が水槽を運んでくる。

たま子 はい、はい。ぶつからないようにね。愚息社長が送ってくれた水槽ですよ。

職員たち、感嘆の声をあげる。

たま子 そして、手配をしてくれた愚息さんが、ここに駆けつけてくれました。あ！拍手う！

職員が一斉に拍手をする。明かりが落ちる。派手な音楽。

舞台の一角、サスペンションライトが落ちたところに、IT関連会社の社長、大王具息が浮かび上がる。

具息 皆さま、おラホール劇場第二回公演のお越しくださしまして、誠にありがとうございます。わたくし、第一回から全て出演させていただいております、本名を木地谷と申します。今回はなんと、IT関連業界の社長役です。役名は大王具息。ダイオウグソクムシ知っていますか。もぐらんぴあにも居ますからぜひ見にいらしてください。その、生き物は、これだ！

具息、ダイオウグソクムシのパネルを出す。

具息 数年に一回しか食事をしなくても生き続けられる、長生きの生き物です。どうして、グソクムシかって。見てくださいよ、このヒールなフォルム。このおらほーるの舞台でヒールな役を演じられる人物といたら、ほら、この私しかないでしょう。私しか…。今回は、ヒール役か？

具息、パネルをしまい、話題を変える。

具息 今回は、非常に仕事が忙しく、ちょい役で良いですよ、脚本家に話したら、セリフも無いほんとのちょい役をくれました。それで、実はもう3回も出ているんですよ。わかりました？それも、今まで私が扮した役の裏設定までつけて、登場出しているんですよ。ここまでくると、わかりませんよね。とても感動的な場面にさえ、入り込ませるという無茶もさせてもらっています。

もし、この後、もう一度にこの舞台をご覧になる機会があったら、ぜひ私を探してみてください。泣けるシーンでも笑ってしまいます。

しかし、私を目当にご来場の皆様のために、このような見せ場を設定いたしました。

この場面で、私のセリフのある場面はおしまいです。フアンの皆さん、私の有志を目に刻んでくださいよ。おっと、カメラ撮影はご遠慮願います。

写真は終演後にロビーでお願いします。ツーショットもOKです。

さらに、サービスとして、ラスト近くに、洞窟内を研究する穴口准教授としてもう一度出演します。セリフはありません。もし、私を発見できたら、拍手をしてください。皆さんに期待しております。では、芝居に戻ります。

みなさん、ありがとうございます。10周年ありがとう！

矢部 ぐいぐい来ましたね。本編には関係ないセリフで。

愚息 この一瞬に全力投球ですよ。人生、その一瞬一瞬の積み重ねですから。

小向 素敵です。

愚息 お嬢さん。惚れてもらっちゃ困ります。こう見えても、妻も子もいるのですから。

広崎 こう見えてって、そうしか見えませんが…。

愚息、広崎の言葉は聞こえないのか聞こえないふりなのか、全く無視をしている。

たま子 社長、水槽を本当にありがとうございました。

愚息 水槽ぐらいどうってことありません。なんてったって、年商一千億円のアイテエ関連会社の社長ときたもんだ。

法螺 よっ社長！

大下 日本一！

高屋敷 色男！

広崎 大富豪！

小向 社長は、何とかヒルズなんていうビルに住んでいるんですか。

愚息 ああ、そうだよ。

落合 すげえ。

愚息 というか、自分が所有するビルに住んでいるんだが…。

奏多 自分でビルもってるんですか。

愚息 まあね。

広崎 私、知ってますよ。一階が店舗で、2階のフロア全部が家族の居住スペース。

愚息 そう、そう。

広崎 そして、ビルの最上階には『天空の間』という、広大な宴席の空間を持ち、そこでは、夜な夜な乱痴気騒ぎが行われているんですよ。

愚息 乱痴気騒ぎとは失礼な。地域の社交の場として地域貢献していると言ってくれたまえ。

法螺 まるで、タイムスリップしたようなバブルの申し子！

大下 社長は、いつもはどんな仕事をしているんですか？

愚息 アイテエ関連の仕事は、趣味といえば、そうなんだが、本当の仕事は…。

小向 本当の仕事は？

愚息 本当の仕事？まあ、食うためじゃなくて、何ていうかライフワークと

でも言いますか、そんな感じで役者をやっているのが仕事といえば仕事ですかね。ある時は、難事件を操作する川井刑事、ある時は、落ちぶれた製鉄会社の社員、川崎鉄男、ある時はテレビ局プロデューサー

江根知圭、ある時は、大学の准教授 穴口。いろいろな人物の人生を送ってみる。そう、人生の旅人、それが私の仕事といえは仕事……。

みんな、飽きて世間話をしている。

愚息 つか、ちゃんと話をききなさい！今、良いセリフ言ったんですよ。

私の仕事、それは人生の旅人……。

広崎 ごめんなさい、あまり興味がなかったんで終わるのを待ってたんです。

大下 私たちが興味があるのは、社長じゃなくて、社長のお金ですから……。

愚息 何ともストレート！じゃあ、私の話を聞いてくれた人は、高級焼き肉

店へご招待！（山形町内だけ）うん、それから、テーマパークの

3スリーデイズパスポートもおまけに付けちゃう！（岩山パークラン

ドだけ……）

高屋敷 社長だあいすき！

女子、愚息を取り囲む。

愚息 この待遇、まんざらでもないなあ……。

その間、落合と奏多は水槽を設置している。

落合 水槽の設置終わりました。良いですか。

矢部 良いですね。愚息さんありがとうございました。

愚息 いえいえ、テレビの取材などが来たら、私の名前など出……してもらっ

て構いませんから。変にシークレットぶって良い人を気取るのもカッコ

悪いですからね。社会貢献、被災地支援も大切なビジネスです。そう、

割り切ってください。

高屋敷 あれ、今の言葉、ちょっとかっこいいかなって思っちゃいました。

愚息 惚れないでくださいよ。被災地支援に来て現地の女性と火遊びをしたと

なっちゃあ、とんだスキャンダルですからね。

愚息、チラリと時計を見る。

愚息 ああ、もうこんな時間だ。後、数時間で花巻空港からチャーター便でド

バイへ飛ばなくちゃいけないので、これで失礼します。

高屋敷 また、顔を出してくださいね。

愚息 君に言われちゃあ、仕方ないな。また来ます。アデュー！

愚息、風のように去る。

落合　なんか、説得力無いけど、すごい人だな。  
奏多　花巻からドバイへ飛行機飛ぶんですね。

みんな、『いやあそれはどうかな…。』という顔をする。

たま子　それでは、皆さん。雇用条件も整いまして、活動する場所も整い、水槽も届きました。もう一度、ここから再出発です。…社長からも。

矢部　皆さん。よろしく願います。

スタッフ　よろしく願います！

まちなかのスタッフは、水族館の準備に働きます。そのまま、ダイジェストの無言劇に入ってゆく。

無言劇では、まちなか水族館オープンまでの軌跡（前回の上演のシーンを含めたダイジェスト）をスライド上映のよう形で展開する。

- ① 被災地支援の子どもたちの訪問
- ② まちなか水族館オープンのテープカット&もちまき
- ③ テレビ局の取材
- ④ 商店会への水槽の設置
- ⑤ 水族館設備の充実

※ 青で舞台全体のトーンを落とした状態で日々進んでいる日常を表現し、重要な場面の時に明かりが切り替わり、ストップモーションでその出来事の重要な場面を写真のスナップのように切り取る。（可能であれば）

そして、一年が経過する。まちなか水族館も展示物などがそろい、水族館らしくなってくる。

10TH 3億円の助成交付

水族館の開館前、矢部はパソコンを開き、メールのチェックをし、たま子は事務整理をしている。落合と奏多は水槽の掃除と水槽の中の生き物たちの状態のチェックをしている。

そこへ、高橋と上館が血相を変えて入ってくる。

上館 たたたた、大変です、

奏多 な、何ですか。

高橋 期限付きの緊急雇用が伸びました。

落合 大変っていうから驚いたじゃないっすか。それって、良い知らせているんですよ。

たま子 良かった。これで、食いつなげるわ。

奏多 でも、いつ切られるかわからない状態が続くのもなんだかなあ。

たま子 駅前のここも、ずっとというわけにはいかないでしょうしね。

落胆の表情。

落合 国でも、緊急じゃない雇用ってのをやってくれないもんすかね。

矢部 そうですね。

一旦、肩の力を落とした高橋が、また表情を硬くして話し出す。

上館 そ、それと、こっちは本当に大変です。水族館の再建に、国からの支

援が受けられなさそうなんです。

矢部 どういうことですか。

高橋 再建の支援について総務省に打診していたところ、水族館は博物館等類似施設ということで、文部科学省管轄だったということで、申請の窓口が違っていたらしく…。

たま子 どういうことよ。

上館 我々の部署では、文部科学省への窓口はなくて、

落合 だから…。

高橋 産業振興課では、商業施設として考えていたもので…。

奏多 だから…。

高橋 すみません、だから…。

矢部 水族館の再建はできないということですね。

新田、現れる。

新田 そ、そういうことです。



矢部 新田課長…。

新田 全て、きちんと把握していなかった、私の責任です。部下は責めないで

ください。すみませんでした。

落合 そ、そんなあ。

奏多 水族館再建は、無理なんですね…。

たま子 ああああ。

新田 なんとお詫びしたらいいものか…。

新田、深々と頭を下げる。高橋と上館もそれに倣う。

矢部 頭をあげてください。みんな初めてのことですから、どうしていいかわ

からないのです。新田さんのせいではありません。いつも、精一杯やってくださっています。そんなに責任を感じなくてよろしいです。

新田 矢部さん…。

そこへ、宮沢賢が現れる。

宮沢 雨にも負けて 雪にも負けて

夏の暑さにも負けた わが人生…。

欲だらけで

決して笑わず

いつも静かにいかってる

そういうものです この私

矢部 宮沢さん。今日は…。

宮沢 矢部さんには、大きな貸しがありました。その貸しを返済すべく、東奔西走…。3億です。

矢部 何ですか。

宮沢 3億です。

たま子 ですから、何ですか。

宮沢 文部科学省がもぐらんびあの復旧として出してくれた予算です。

上館 えっ。でも、申請はしていませんよ。

宮沢 ちっちゃっちゃ。県行政だって、手をこまねいていたわけではありません。縦横、連携を図りながら、取ることができそうな予算は全てその土俵に上げて国に提出していました。

高橋 本当ですか。

宮沢 3億です。文科省に確認してください。申請が必要なら、ここからは市の皆さんで…。

新田 ありがとうございます。…み…。

宮沢 宮沢です。

宮沢 さりげなく市職員に名刺を配る。

宮沢 人間がする仕事です。落とすことだってあります。でも、それをカバ―し支えあって、県民の幸せを目指すのが、県と市町村の仕事じゃないですか。

上館 これぞ本物の行政マンだ。

高橋 カッコよすぎます。

宮沢 矢部さん、行政にはできないこともありますけど、行政にしかできないこともあります。頼れる時には頼ってください。

矢部 宮沢さん…。

宮沢 これで、ちよつとは良い印象を持っていたけましたかな。

法螺 かっこいいです。

高屋敷 素敵です。

広崎 公務員の恰好良さを、今知りました。結婚するなら断然公務員にします。

宮沢 そう言ってもらえただけで本望です。それでは、宮沢でした。

宮沢、去ってゆく。

たま子 ということは、新田さん。

新田 水族館が再建できるかもしれません。高橋君、上館君、役所に戻って確認するぞ！

上館・高橋 はい。

新田は指示を出しながら、上館は携帯電話を掛けながら、高橋は書類を確認しながら、役所に向かって走り去る。

毎日がそんな小さなドラマの積み重ねで、一つのドラマが紡ぎだされていく。今日のドラマの一幕が一応の決着を見せたことを表すように、日が陰り、赤い西日がまちなかの水族館に差し込んでくる。

たま子 ありがたいわね。

矢部 本当に。

たま子 精一杯やっているから見えないところもあつたけど、見えないところで私たちのことを思って支えてくれていている人たちがたくさんいるのね。矢部 そうだな。目に見える所だけじゃない。関わってくれている全ての皆さんに感謝する気持ちを忘れないようにしないとイケないね。

たま子 はい。

そして、今日のドラマが閉ざされる。

暗転

### 第三景 あれから五年の風景

11TH 水族館 オーバー アゲイン

舞台が転換されると、そこには新しく再建された水族館がある。その水族館の前で、オープニングセレモニーが行われようとしている。舞台上手側ではテープカットの準備、舞台下手側にはくすだまも設置されている。

水族館職員は、セレモニーの準備に追われている。市職員も、入場者を並ばせるなど、今まで関わった多くの人たちがせわしなく動き回っている。くすだまの下のあたりには、入場を待ち列をつくっている人たちの姿もある。

(入場者の列の中に、穴口准教授に扮した愚息さんもいる。)

局アナが、テープカット準備をしている前で、カメラチェックをしている。

局アナ はい。本日わたくしは、震災後5年目にして、再建を果たしオープンした、水族館にやってきました。もうすぐ、オープンのテープカットなる模様です。本日は、震災後この水族館をずっと支援し続けてきた、アクアリウムアーティストクリオネさんもいらっしゃっています。それでは、入館者一番乗りをねらって一週間前からここにお並びになっていた方にインタビューしてみます。

局アナ、列の最前にいる、愚息にマイクを向ける。

局アナ 一週間お疲れさまでした。待ちに待ったオープンですね。

愚息、ちよつと顔を隠すしぐさと、拍手をアピールするしぐさをする。

局アナ すみませんでした。このシーンではセリフが言えないそうです。仕事もあるとは思いますが、よくここまで頑張れましたね。お疲れさまでした。

続きまして、今日から当館の館長になりました、矢部いさむさんにお話を聞きたいと思います。

矢部さん、今日はおめでとうございます。今日の日をどんな気持ちでお迎えになりました。

矢部

か、か、か、かんむりじろうです。

小向、そばに近づき小声でアシストする。

小向 …『感無量』です。

矢部 か、か、かんむてんのうです。

落合 社長、いや館長、緊張しすぎて、変になってます。

奏多 それだけ、苦労したってことです。いいんじゃないですか。

そこへ、たま子が声をかける。

たま子 テープカットの準備ができましたよ。

矢部 それじゃあ、失礼します。

局アナ あれ、何も聞くことができませんでしたね。以上、オープンにわく水族館からでした。

テープカットの場所には、市の新田課長、県の宮沢課長、クリオネ、が整列している。テープカットのセレモニーは、今まさに行われようとしている。

そこへ、紫縁が駆けつける。

紫縁 クリオネ！

クリオネ …紫縁？

紫縁 もう一度、もう一度！

広崎 ええっ。クリオネちゃんと付き合ってたのお。もう一度なんてそんなこ

とはさせないわ！

紫縁 もう一度、…バンドを！

広崎 そっちかい！

広崎、紫縁とクリオネの間に割って入ろうとしながら、勘違いに気づいてコケ、テープカットに並んでいた人にぶつかり、出席者は将棋倒しになる。最後はくすだまの準備をしていた奏多にぶつかり、くすだまを割ってしまう。

くすだまからは、『おらほーる10周年ありがとう』の垂れ幕が広がり、紙吹雪が舞い落ちる。

たま子 あららら。そのままテープカットしちゃってください。

出席者、倒れたままテープカットを行う。

たま子、近くに設置してあるマイクに駆け寄り、アナウンスする。

たま子 水族館オープンです！

落合、音響設備にかけてゆき、スイッチを押す。

ファンファーレ、(もしくはあまちゃんのテーマソング)が鳴り響く。

整列していた入場者が中に入る。

矢部 まあ、セレモニーが長くならず、お客様を待たせることが無くて、結果オーライですね。

たま子 前向きねえ。だからこそ、ここまでこれたのかもね。おめでとう。

矢部 こちらこそ、ありがとうございます。

矢部、クリオネに近づいて。

矢部 クリオネさん、ありがとうございます。

クリオネ 何ですか、今さら改まって。長い付き合いじゃないですか。

矢部 あなたの歌を聞いて、挫折そうな気持ちを奮い立たせて、何度、一步を踏み出すことができたことか…。ありがとうございます。

クリオネ ありがとうございます…。こちらこそ…。

矢部 宮沢さん。あなたがいたからこそ、今日に向けて動き出すことができました。

宮沢 いや。公務を全うしただけです。

奏多 仕事だけじゃない、思いが感じられました。ありがとうございます。

宮沢 そう、言っていたただけるだけで、仕事をした甲斐があるというものです。

矢部、新田に歩み寄る。

矢部 今まで一緒に走ってくださってありがとうございます。

新田 良いですよ。そんな。こちらこそ、いろいろ迷惑をかけました。

矢部 そして、全力で仕事をする、良い部下をお持ちだ。彼らは、新田さんの下で働くことができ、幸せだと思いますよ。

新田 そう言ってくださることが何よりです。

矢部、水族館の職員を中央に集める。

矢部 そして、ずっとそばにいて、一緒に歩んできてくれたみんな、ありがとう。本当にありがとう。

たま子 何ですか今さら。

高屋敷 改めてそんなことを言われると涙が出てきちゃうじゃないですか。

小向 みんながみんな何をしていたかわからなかったの、

大下 がむしやらにやってきただけです。

広崎 私たちを、ちゃんと見守って、切り捨てないで、使ってくださいったか

ら今日があるんじゃないですか。  
そうですよ、社長。いや、館長。  
奏多 これからもよろしく願います。

全員 願います。

矢部 そして、私たちをずっと支えてくれている多くの皆様にも、本当に感謝です。

矢部 皆さん本当にありがとう。こうやってつながったことを感謝して、10年と続いていけるように、これからもよろしく願います。  
全員 よろしく願います。

軽快なオープニングのアレンジとは異なるテンポで、Over againが流れ出す。まずはクリオネ、そして全員の群唱となる。

Over again

(クリオネ)

Over again

水面(みなも)に煌(かがや)く太陽(ひかり)の欠片拾い集め  
明日への希望 形にして

(全員)

船を 無くしたって

ぼくらはまだ生きているんだから

ほら 旅立つよ 航海

仲間さえいれば

旅は続けられるさ

いつかまた

船を作って

漕ぎ出そう 大海原 (wadatsumi)

Over again

水面(みなも)に煌(かがや)く太陽(ひかり)の欠片拾い集め  
明日への希望 形にして

Over again

水面(みなも)にたゆたう 光の影手繰り寄せ  
新しい色で染めよう 未来!

棲み家 失っても

ぼくらはまだ立ちあがれるんだから

さあ 興すんだ 心の柱

想いさえあれば

作り出せるさ 新しい記憶

いつかきつと  
ここで 夢を  
追い求められるさ NEVER GIVE UP

Over again  
水面（みなも）に煌（かがや）く太陽（ひかり）の欠片拾い集め  
明日への希望 形にして

Over again  
水面（みなも）にたゆたう 光の影手繰り寄せ  
新しい色で染めよう 未来！

新しくはじまる水族館の船出に全員希望に満ちた表情で、歌いきる。  
舞台上の人々の表情は、10年を経過した舞台が新たな一步を踏み出そうと  
している、そんな気持ちも込められ…。

To be continued

平成28年8月15日 脱稿